



真鶴中学校だより 第二四二号

鶴からの手紙

2022.9.30

責任者
市川 麻美

「物思う秋」

を迎えて…

九月二十一日、二十二日で定期テストがありました。夏休みを利用して一学期の学習の振り返りとまとめをしていたと思いますが、その成果はいかがだったでしょうか？うまくいった人もいかなかった人も、またこれからが再スタートです。日々を大切にしていきたいでしょう。

少し前の話となりますが、九月十日は「中秋の名月（十五夜、一年で最も美しい月）」と「満月」が重なっていました。皆さんは、丸い盆のようなきれいな月を見ましたか？



い月の高さとなり、空気が澄み渡っている時期なので、月が鮮やかに見えるのだそうです。そんな爽やかな季節、そしてだんだん夜が長くなっている今日この頃、じつくりと「考える」時間を作ってみるのはどうでしょうか。

三年生は進路についてどうしても考えなければなりません。

二年生は、三年生に代わって学校をリードしていく存在としていろいろなことに思いを巡らせてほしいです。

一年生は中学生になって半年になります。中学生らしくなってきましたが、勉強のこと、部活動やその他の生活全般を振り返って、進級に向けてよりよい準備



期間にするように考えてみてほしいと思います。

それぞれに、これから「秋の夜長」の活用を！

「頑張ってきました」 パラススポーツ大会」

地区中学校体育連盟主催の総合体育大会。パラススポーツの部が、小田原アリーナで行われました。競技は、東京オリンピックでも盛り上がった『ボッチャ』です。本校では、三・四組の生徒達が練習を重ね、得意技を磨いて挑みました。結果は、生徒達の感想でご確認ください。

九月十六日にボッチャ大会がありました。私たちが対決したチームは、白鷗、城北、城山、箱根の四チームです。

狙われたときは「マズイ、狙われる。」と思いました。結果は負けてしまいました。でも、楽しくやれてよかったです。

一年四組 井林 愛万音

僕たちは小田原アリーナまで歩いてきました。到着して学校紹介をして、準備運動をしました。最初に対決したのは白鷗チームで、勝ちました。

次に対決したチームは城北チームですが、負けてしまいました。二位トーナメントでは城山チームと戦い、勝ちました。次に対決したチームは箱根チームですが、またもや負けてしまいました。結果はベスト四でした。すごく悔しかったです。楽しめました。

三年三組 阿部 尚史

三ヶ月前から大会に向けて準備をかさねて、ジャックボールの近くに自分たちのボールを落とせることができました。これで、自分たちの目標は「優勝」に決まりました。

しかし、大会当日には二位トーナメントの四回戦で、箱根中学校に負けてしまいました。ベスト四という結果で終わりましたが、全力で取り組んで楽しむことができました。

三年四組 青木 類

令和4年度 小田原・足柄下地区
中学校総合体育大会
パラススポーツの部 ボッチャ大会



「学校生活に ついての調査」 七月実施

年二回、生徒・保護者の皆様にご協力をいただいている『学校生活についての調査』の生徒分の結果を簡単ですが、報告します。

『学習について』

八割以上が授業で分かれると感じたり、ＴＴ（二人以上の先生による授業）などによって理解が深まっていると感じていることはとても素晴らしいですが、家庭学習や見通しを持ったり、振り返ったり（マナログの活用など）しながら学習に取り組むことはそれほど高くはありませんでした。このことから、自らの意思で学習をするというよりは、環境が整っていることにより受け身の姿勢で学習に向かっていると考えられます。今後は、より主体的に学習を行う手立てを考え、実行していく必要があると思います。

『生活について』

「他者を思いやり、挨拶や、言葉づかいを意識して生活することができている」が、八十五%を超えていることはとても素晴らしいです。挨拶をしつかりとすることが、真中の伝統で

あるとよく耳にしますし、生徒会

主導の、心に種を蒔く

日などを続けることに

より、人権感覚が自然と身につき

実践していると考えられます。また、約七割

が「悩みを相談できる大人がいる」ようですが、より相談しやすい環境を整備していきたいです。

『健康・安全について』

八十五%以上が災害時の行動を意識することができています。しかし、二十五%が「望ましい生活習慣がしっかりと身についていない」と答えているところが気になります。

いま一度、家族で生活習慣について話をしてみてください。

『地域との協働について』

七割以上が地域に貢献しようという意識をしています。総合的な学習の時間を活用した、地域学習での成果が出ていると思われます。一方で、学校からのお知らせを約二割が見ていな



い現状も見えました。担任が一度読んでから渡すなどの工夫をすることもあると思いますが、家庭でも声をかけ、促してもらえると助かります。

そして、生徒からの記述意見で、「階段の左右のどちらを通ればいいのか、わかりにくい（矢印を階段の前書く）」や「エアコンが教室の端についているため、一部にしか風があたりません。また、風が当たる人は寒い」「廊下が滑りやすい」「体育館の扇風機の台数が少ないと感じる」などの意見がありました。みんなのことを考えた意見が多くあり、誇らしく思います。

さっそく、階段の矢印を貼ってみました。また、教室内のサーキュレーターや扇風機設置の対応を検討しています。安全で過ごしやすい環境を生徒の皆さんと共に作っていききたいと思っています。

保護者からのご意見で、「マスクを一時保管するためのケースが、毎日同じ物を使い続けるのは、かなり不衛生では」とありました。今後、学期ごとに新しい物に替えていくようにしていきます。ちなみに、九月から新しい物に替えました。また、「運動会で生徒応援席にもテント設営をするといいのでは」とありました。これについても、タープのような物を設置し、日陰を作る方向で検討しています。その

他にも、様々な角度からのご意見をいただきました。今後の活動に生かしていきたいと思っています。ご協力、ありがとうございました。

「学習活動発表会 に向けて」 全校生徒を繋ぐ

九月二十七日の昼休みから、生徒会役員主催で生徒会スローガン「繋ぐ」に合わせて、全校生徒が一つのボールをパスして繋いでいく企画の撮影が始まりました。これは、各種委員会の委員長などが集まる、生徒委員会の後に行われる、ざっくばらんな討論の場「マナトーク」で出された案だそうです。完成したら学習活動発表会上映する予定です。お楽しみに。

